

市ホームページから
閲覧できます



特集

みんなで作る 「やさしいまち」



誰もが暮らしやすく訪れやすいまちに。
市では、思いやりの心がつなぐ「助け合い」「おもてなし」を合言葉に、
人と地球にやさしいまちづくりを進めています。
その考え方や具体的な取り組みについてご紹介します。

特集に関する問い合わせ
市民協働課 ☎24・8217

インタビュー

心のバリアフリーは 「やさしい気持ち」から

特定非営利活動法人
石川バリアフリーツアーズセンター
理事長 坂井 さゆりさん

私がバリアフリーの問題に取り組んだきっかけは「バリアフリー」という言葉があまりにも違った意味にとられていたから。一般的にバリアフリーから想像するものは、スロープや点字ブロック、段差の有無、車椅子などで、それ以上何も出てきません。点字ブロックは視覚障がい者には必要なものですが、車椅子の人には妨げになることもあります。両者にとってバリアフリーにする解決方法は、個々に対応できる「心のバリア

フリー」しかないのです。

施設整備などハードによるバリアフリーは限られますが、心のバリアフリーは無量大です。2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて国土交通省も国内のバリアフリーの状況を確認しようとしていますが、ハードでのバリア解消は難しい反面、助け合いや思いやりなどソフトでクリアしようとする「心のバリアフリー」では約80%が解消できると言われています。

私は究極の心のバリアフリーは「親の愛だと思っています。生まれただけの子に対して親は、ミルクが熱くないとか、オムツの通気性が良いとか、少しでも心地よく成長することを願って気遣います。よちよち歩く頃になると、危ないところに座布団を置いたり床に落ちていた物を拾ったりと、温かな気持ちのあるところにはハードのバリアフリーが自然と付いてくるのです。

人間も動物もみんな、子を思う気持ちのバリアフリーを実践し、育てられ、育てています。やさしい気持ちは難しいものではなく、ふと周りを見渡すとどこにでもあるもの。それを改めて自覚し、みんなが持っている「やさしい気持ち」に気付くことから始めましょう。

小松市がやさしさあふれる素敵なまちになるよう応援しています。

7つのやさしい視点

次の7つの視点で、誰もが共にいきいきと暮らせる地域づくりに取り組みます。

1 子育て

ボランティアの推進やICTを活用した情報提供、総合相談、働く両親への支援などにより、子育てしやすいまちナンバーワンに



2 元気シニア

地域参加や地域貢献、健康づくり環境の整備、生きがい・やりがいづくりで、アクティブシニアが活躍するまちに



3 フレイル（虚弱という意味）

生活支援と介護・看護・医療の連携のほか、安全に配慮した道路整備、認知症ケア・在宅看取りの推進など、誰もが安心して暮らせるまちに



4 みんな・コミュニティ

障がいへの理解を深めるとともに、施設のユニバーサルデザイン化、地域社会への参画促進など、共創で進めるまちづくり・ひとづくり



5 小・中学生

多文化共生への理解やボランティア活動などによる心のバリアフリー推進、他者を思いやり、未来に希望を持った子供達が育つまちに



6 観光・歴史資源

バリアフリー観光の推進や分かりやすい案内表示、訪れたくなる美しいまちの創造で、おもてなしのまちに



7 エコ

バイオマスエネルギーの活用、リユース・リデュース・リサイクルの推進など、環境と共生するまちに



赤ちゃんから高齢者まで、すべての人と環境にやさしく

小松市民センター リニューアルオープン

案内サイン

大きく見やすく、
分かりやすくなりました。



大ホール

座席を取り外すことにより車椅子席の大幅な増設が可能に。ホール前エントランスにはスロープを設置し、ベビーカーや車椅子での移動もスムーズ。

防災拠点整備

太陽光パネルや蓄電池を設置し、停電時も照明やコンセントの利用が可能になり、災害時も安心。

その他

エントランスホールや小ホールに環境に配慮したLED照明を取り付け、とても明るく。部屋ごとにきめ細かな空調の調整が可能になり空気もきれいに。



子供用トイレは
全部で4カ所

子供用トイレ

多目的トイレのほか、男女それぞれのトイレに子供用トイレを新設。おむつ交換台もあるので安心です。

はつらつセンター

開館時間／9：00～17：00

対象／60歳以上 利用料／1人100円



仕切って利用することもできます

はつらつルーム

畳とフローリングの部屋を併設し、テーブルと椅子席の利用が可能に。



浴室

お風呂には大杉石と観音下石を一部使用。それぞれ「大杉の湯」「観音下の湯」と名付けました。

北部児童センター

開館時間／9：00～17：00

木のお部屋

加賀の杉材を用いて、赤ちゃんから高齢者までが集うやさしい空間に。積み木やパズルなど、木のおもちゃがいっぱい。



小松市民センター

大島町内42番地3 ☎24・6101

開館時間 9：00～22：00

(※予約受付は9：00～17：00)

休館日 毎週月曜日(ただし祝日の場合はその翌日)、年末年始

6/1木



ニュースポーツ「フライングディスク」



ボランティア活動体験

みんなで参加。バリアのない社会へ

こまつやさしいまち推進プラン
アクションプロジェクト
7つのやさしい視点を持って、みんなのためにみんなの力でプランを実行していきます。その取り組み内容の一部を紹介します。

ボランティア

- 小・中学生、高校生、大学生を対象としたボランティア活動体験
- ファミリーサポートセンターや、地域サポートクラブの利用促進
- 女性・外国人防災士の育成
- 心のバリアフリー
- 手話出前講座、福祉ふれあいフェスティバルの開催
- 外国人との交流、多文化共生講座の実施
- 文化・体育活動
- 障がいのある人もない人も参加できる音楽会や美術展、スポーツ大会の開催や、会場施設のバリアフリー化
- 障がい者スポーツ指導員の養成



巡回ワークショップ

全ての人がいきいきと躍動するまち、環境と共生するまちを目指して、市民や地域の皆さん、企業、行政の共創のチカラで、やさしいまちを次世代につないでいきましょう。

- 地域社会への参加促進
- 高齢者や障がい者、子育て親子など、対象者ごとの巡回ワークショップの開催
- 公民館活動の活性化
- はつらつ協議会の活動推進
- コミュニティの担い手育成、各種養成講座の開催
- 地域住民が運営する高齢者の憩いの場ミニデイの開設

はつらつとした地域づくり・ひとづくり



おもいやり駐車場

- ユニバーサルデザイン
- 公共・スポーツ施設のトイレ、おもいやり駐車場の整備
- ピクトグラム(絵図)や多言語表記による案内板の設置
- 公共交通、歩道の整備、民間施設のバリアフリー調査
- 美しい環境づくり
- フローラルこまつや美化ピカ隊の取り組み推進

おもてなしの心をカタチに

- 車椅子持ち上げボランティア募集
(バリアフリー観光全国フォーラム石川大会)

段差のある観光地で、車椅子の観光客を数人1組で持ち上げる介助ボランティアを募集します。

とき 7月1日(土)

▽安宅の関(9時) ▽那谷寺(10時30分)
▽日用苔の里(13時) いずれも1時間程度。1カ所のみの参加でも可。

申し込み 6月19日(月)までに市民協働課 ☎24・8217 または

✉kyoudou@city.komatsu.lg.jp

- 障がい者スポーツボランティア募集
1日2時間程度、障がい者の皆さんが運動する際の補助や見守りを行うボランティアです。

▽小松サン・アビリティーズ 毎週金曜日及び第2日曜日午後 ▽桜木体育館 毎週火曜日午後
問い合わせ 小松市体育協会 ☎23・5961

- やさしいまちづくり意見募集
「やさしさねっと」

あなたの考えるやさしいまち、やさしいまちにするためのあなたの行動など、皆さんの意見を送ってください。

応募方法 市ホームページの「やさしさねっと」のアンケートフォームに入力または市民協働課へFAXにて送付。
応募先 市民協働課 ☎23・6404